

第86回 病態生化学セミナー

日時：平成26年11月14日（金曜日）午後6時00分～

場所：医学部 図書館3階 視聴覚室

演題：がん関連遺伝子 TACC3 による紡錘体制御と分子標的治療への応用

Role of TACC3 in the spindle assembly and its application as a molecular target for cancer therapeutics.

演者：がん研究会 がん研究所 細胞生物部 主任研究員

八尾 良司 先生

TACC3 は様々ながんで発現異常を示すがん関連遺伝子です。TACC3 は種を超えて保存されている TACC ファミリーの一つで、微小管重合を制御する事により紡錘体形成に関わる事が知られています。私達は、TACC3 コンディショナルノックアウトマウスを用いて、TACC3 ががん組織選択的な機能を持つことを見つけました。本セミナーでは、TACC3 がもつがん細胞の紡錘体形成における機能とがん治療分子標的としての可能性についてお話をさせていただきます。

【八尾 良司】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学(3)、

博士課程選択科目：細胞生物学I(6)、老化II(20)、発生生物学I(15)、発癌I(22)、腫瘍生物学I(24)、II(25)、III(26)、臨床腫瘍学I(28)、II(29)、III(30)、IV(31)、V(32)、VI(33)、地域がん治療学(37-1)、口腔腫瘍学(37-2)、薬物動態学I(70)、腫瘍免疫学I(79)、理工医学のための生物材料学(103)

医科学専攻(修士課程)選択科目：

腫瘍の発生・増殖とその制御、理工医学のための生物材料学の基礎を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。